

2001年度 データベース検索技術者認定試験

2級 試験問題（後半）

注意事項

1. 着席したら、受験票を机の上に置いて下さい。
2. 解答用紙の所定の欄に受験番号・氏名を必ずご記入下さい。
3. 解答時間は、15:45～16:25の40分間です。
4. 中途退席はできません。
5. 問題は3問、1ページ、解答用紙は3ページです。確認の上、落丁・乱丁・印刷不鮮明のもの等がありましたら、手をあげて試験官にお知らせ下さい。
6. 解答は、問題文の指示にしたがい、解答用紙にご記入下さい。
7. 問題の内容に関する質問は一切できません。
8. 試験問題は持ち帰って結構です。
また、受験票を忘れずにお持ち帰り下さい。

問 1 6 一次情報（文献全文）と二次情報データベースをリンクした文献検索方法について、「電子ジャーナル」、「Web」、「情報のフィルタリング」、という言葉を使って、そのメリットとデメリットを、それぞれ2つずつ記述しなさい。

問 1 7 企業内などでサーチャーがエンドユーザーに代わってオンライン検索を行う際に、エンドユーザーの情報要求を的確に把握し、最も適切な検索手段や検索戦略を導き出すためにプレサーチインタビューを行う。このプレサーチインタビューで大切と思われることを、3項目あげ説明しなさい。

問 1 8 以下の3問から1問を選択して、問題文にしたがって解答しなさい。

- 1 . CAS 登録番号は、CAS (Chemical Abstracts Service) が各物質に付与しているいわば背番号で、物質同定情報として広く利用されている。また、多くのデータベースでは検索語として利用することができる。この CAS 登録番号で物質情報を検索する場合のメリットと使用上の注意点をそれぞれ一つずつあげなさい。
- 2 . ある研究テーマに関連した文献検索を JICST 科学技術文献ファイルで実行したところ、予想外に回答結果が多かったため、検索式を見直す必要が生じた。検索式を見直すポイントを3点あげて解説しなさい。
- 3 . 「A社が 技術について権利を持っているらしい。どのような内容なのか詳細が知りたい」という依頼があったので、出願人がA社という特許検索をしたところ、回答結果が0件になってしまった。検索をさらに続けたい場合、先の検索で回答が得られなかった原因とそれに対する処置として考えられるものを3つあげなさい。